

平成 17 年 3 月 22 日
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報(地震火山編)第 191 号

～地震情報における付加文コードの日本語表記の一部変更～
(平成 14 年 3 月 31 日付「津波予報、地震・津波・火山に関する情報解説資料」関連)

現在、気象庁では、国外でマグニチュード 7 以上の大地震が発生した場合、日本への津波の影響を判断した上で、遠地地震の地震情報を発表しています。

しかし、昨年 12 月のスマトラ島西方沖の地震による津波災害を受けて、国外の地震についても、その発生の実態等を速やかに公表することが求められています。

そこで気象庁は、従来から行っている日本への津波の影響に関する付加文に加え、国外における津波の影響の可能性についての付加文も地震情報に含めて発表することとします。これに伴い、日本への津波の影響を報じる既存のコード対応の付加文について、下表のとおり日本語表記の一部を変更します。

なお、国外における津波の影響を報じる付加文については、コード対応しない自由付加文となります。

記

1. 実施日時：平成 17 年 3 月 28 日（火）09 時から
2. 変更対象の電文：ゼンコクサイズモ 1、ゼンコクサイズモ 3、カンクサイズモ 1、エンチサイズモ 1、エンチサイズモ 3、ゼンチテンシンド 3、カンクチテンシンド 3、チイキチテンシンド 3
3. 変更部分：地震情報の津波の影響について示す既存のコード対応付加文（太字部分）

現在の付加文	変更後	コード (注 1)
この地震による津波の心配はありません。	(変更なし)	$n_1=7$
津波の有無については現在調査中です。	日本への津波の有無については現在調査中です。	$n_1=8$
この地震による日本への津波の影響はありません。	(変更なし)	$n_1=9$
この地震により、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。	この地震により、 日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。	$n_4=1$

(注 1) これは地震情報のコード部の付加文を示す「 $Afn_1n_2n_3n_4n_5$ 」の項です。津波予報、津波情報、火山情報の付加文のコード部は今回の変更には一切関係ありません。

< 補足説明 >

これらの地震情報のコード対応付加文において、遠地地震の情報では $n_{\neq 8}$ 、 $n_{\neq 9}$ 、 $n_4=1$ を使用する他、深い地震や内陸の地震であるため、世界的に見ても、また、日本においても明らかに津波の心配がない場合には、これまで近地（日本付近）の地震情報で使用していた $n_{\neq 7}$ を使用します。

また、近地（日本付近）の地震情報では、これまでどおり $n_{\neq 7}$ 、 $n_4=1$ を使用します。